



# 射手 近藤 颯海真



# 流鏑馬

10月19日、四十九所神社にて「高山流鏑馬」が行われました。「高山流鏑馬」はおおよそ900年の歴史を誇る伝統行事です。元は国家安泰、五穀豊穡、悪疫退散を祈願する年占いで、現代でもこの願いが込められています。

狩衣装束にあやい笠を身にまとい、弓受けの儀により神の化身となった射手は、神馬とともに約330mの馬場を駆け抜けながら、合計9本の矢を射ます。全国的に成人の射手が多い流鏑馬ですが、高山流鏑馬は、毎年その年の中学2年生が射手を務めます。

今年の射手は、高山中学校2年生の近藤 颯海真君。後射手は昨年射手の高山中学校3年生の武田 創君が務めました。二人の若き射手が、たくさんの人々の期待と願いを一身に受け、馬場を駆け抜けました。



# 後射手 武田 創



# 海を野を駆け 射よ真の一矢

# 「一心一矢」 颯のごとく

広報きもつき vol.246 December 2025

目次	
二	高山流鏑馬 二〇二五
六	近藤 颯海真の挑戦
八	高山やぶさめ祭を振り返る まちの話題
十	町からのお知らせ
十二	選挙管理委員会からの お知らせ ほか
十三	第一回肝付町農業まつり ほか
十四	豚熱ウイルス拡散防止への 協力をお願いします
十五	文化センターからのお知らせ
十六	教育委員会コラム
十七	学校ニュース
十八	楠隼中学校・高校だより
十九	セーフティライフくにもみ岳
二十	町立病院だより
二十一	身体が喜ぶハッピーレシピ
二十二	本の森
二十三	CIRトウの ベトナム探訪 ほか
二十四	有料広告
二十五	「暮らしの便利帳」を 発行します ほか
二十六	子育て支援施設紹介 ほか
二十七	人のうごき ほか
二十八	暮らしのカレンダー





# 高山流鏑馬

## 二〇二五年射手

### 近藤 颯海真の挑戦

#### 14歳の挑戦

8月23日、近藤 颯海真君は流鏑馬保存会より正式に射手に任命されました。

颯海真君が900年以上の歴史を誇る高山流鏑馬の大舞台へ名乗りをあげたのは、2016年に射手を務めた兄（祐生璃さん）の存在があります。

当時5歳の颯海真君は、兄の勇姿に憧れ当時の映像を何度も見て育ちました。その中で、兄（祐生璃さん）ができなかった最初の矢を「こもり矢」にすることを目標に射手として挑戦することに決めました。

※こもり矢とは…射った矢が的の中心の竹に当たること。とても縁起が良いとされている。

#### 新たな神馬「白流」号との出会い

9月、颯海真君の挑戦がいよいよ始まりました。今年は、白毛が美しい新たな神馬「白流」号を迎えて、流鏑馬保存会や昨年射手の武田 創君のサポートを受けながら、練習をスタートさせました。

宮之馬場での練習初日には落馬を経験しながらも、颯海真君は恐れることなく、約2か月の練習を経て射手として成長していきます。

本番2日前の10月17日、柏原海岸にて潮がけが執り行われました。この日は、快晴で射手を応援しようと家から沿道に出て、拍手を送る人々の姿がたくさん見られました。潮がけの神事では同級生が

#### その時、少年は神になる

10月19日、ついに迎えた当日。雨知らずの流鏑馬。多くの人が見守る中、凱旋パレードが始まりました。町中を凱旋中、行く先々では、流鏑馬を一目見ようと待つ人たちが、一行を拍手や声援で激励しました。

奉納前に父の雅彦さんは、「射手は小さい頃からの夢。射手の事は全て兄が伝えてきた。馬も初めてだから一緒に頑張っ

てほしい」と話されました。14時から始まった流鏑馬奉納。颯海真君は目標としていた最初の矢を的の中心に命中させ、見事「こもり矢」にしました。その後は、相棒の「白流」号が尻がはねるなど落ち着かない様子をみせたため、颯海真君は「白流」号をなだめながらバ

ランスを取り、落馬することなく、最後まで大役をやり遂げました。



駆けつけ颯海真君が無事大役を務めることを皆で祈願しました。



流鏑馬の全ての神事を終え、颯海真君は「くやしい気持ちもあるけど、目標を達成できたのは良かった」と振り返り、兄の祐生璃さんは「自分の夢をかなえて

かっよかった」と弟を讃えました。家族や保存会の皆さんと記念の写真を撮る頃には、表情も和らぎ、颯海真君はプレッシャーから解放された子どもらしい笑顔を見せてくれました。

写真提供 石川 徳美 千歳 弘人

